

令和3年度事業計画書

特定非営利活動法人もくもく 就労継続支援B型事業所もくもく

令和3年4月1日～令和4年3月31日

事業所名	もくもく（就労継続支援B型）
開所日	月曜日～土曜日
開所時間	8時30分～17時30分まで
生産活動時間	9時00分～15時00分まで
利用登録者数	男性14名 女性14名（28名）※令和3年4月1日現在

【職員配置】

職 種	人 数	備 考
管理者兼サービス管理責任者	1	管理者とサービス管理責任者の兼務
職業指導員	7	
生活支援員	1	
目標工賃達成指導員	1	
その他職員	1	

令和2年度利用者（利用実績）	
開所日数／年	305日
利用者数／年	6.722人
平均利用者数／日	22人

令和3年度利用者（利用予定）	
開所日数／年	305日
利用者数／年	6.100人
平均利用者数／日	20人

令和2年度就労部門（生産活動の内容）実績

「製造部門」	・湯せんぺい製造 ・菓子箱折り ・シール貼り ・ラベルヒモ通し ・肥料の袋ボトル入れ ・資材管理 ・洗車 ・その他	（前期収入額： 5,764,925円）
「販売部門」	・湯せんぺい ・土産品 ・ゆのはな ・ゴミ袋 ・その他	（前期収入額： 1,435,532円）
「まるとく部門」	・弁当惣菜 ・菓子 ・飲料 ・海産物 ・外販 ・その他	（前期収入額：21,964,450円）

工賃支給額の状況

平均工賃	平成30年度	令和1年度	令和2年度
工賃支給額	10,197,357円	10,995,548円	10,638,444円
平均工賃額	28,183円	32,340円	32,533円

令和3年度の目標工賃

令和3年度	工賃支給額	目標工賃額	工賃支給人数
	10,780,000円	32,950円	327人

アピールポイント

- ◇数多くの仕事内容があるため、いろんな仕事（工程）に携わることができる。
- ◇一つの物を全員で作り上げていく内容が多いため、障害の重い人でも取り組むことができる。
- ◇もくもく市場や小店まるとくの活動を通じて、地域の人たちや観光客等との関わりを多く持つことができる。
- ◇小店まるとくの活動を通じて、地域住民の人たちに喜んでいただくことができ、地域貢献に繋がっている。
- ◇地域貢献活動を通じて、地域の人たちから感謝の言葉を頂戴し、励みや喜びに繋げることができる。
- ◇県内のB型事業所の中では、高工賃を保っている。

苦慮及び試行錯誤している点

- ◇若年層の利用者さんの働く意欲や仕事に対する自覚が低迷している。
- ◇各配置の組み入れが特定の人に限定され、生産活動の対応力が落ちている。
- ◇新型コロナウイルスの影響で、各行事が限定され、気分転換を図る機会が激減している。
- ◇新型コロナウイルス感染症防止対策や記録等の労力が大幅に増えている。
- ◇利用者の高齢化が進んでいる。
- ◇先々、店舗建物の解体が検討されているため、できること、やりたいことを実行に移せない。

つながろう つなげよう 明日へ 力を合わせて！

目指すところ

東日本大震災から10年、熊本地震から5年。ここ最近も、大きな自然災害が毎年のように起きている中、世界各国へ猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染症。苦しい時、辛い時こそ、「人與人」「地域とのつながり」を大切にし、思いやりや助け合いの精神を最大限に高め、明日の幸せのために、誰もが安心安全な生活を送ることに貢献し、更なる地域密着を目指します。そのために、「非常災害委員会」「感染症対策委員会」「虐待防止委員会」そのもののもつ機能を活かすことに力を注いでいきます。

就労部門全般において、生産活動の技術や質の向上を目指すと同時に、利用者配置の対応力を万全なものとし、明日の工賃アップを目指します。そのために、働きやすい環境を整備し、仕事としての自覚や働く意欲の向上を沸き立たせ、それぞれの障害に応じた能力が存分に発揮できるよう力を注いでいきます。

従業員の知識や技術の向上、職員配置の対応力を万全なものとし、未来の明日へつなげる力を備えます。そのために、就労部門の各配置の新たな対応職員を育成していきます。（工場配置人員：1名 資材管理人員：1名）

上記内容を達成するために、全員一丸となって力を合わせていきます。

【製造部門】

1) 感染症対策と衛生徹底

◇感染症対策と衛生徹底に努め、安心安全に過ごしやすい働きやすい環境を更に構築します。

2) 効率と品質向上

◇それぞれの障害に応じた能力が存分に発揮できるよう、分かりやすく使いやすい道具や見本を整備し、取り組み人数の増員を図り、生産力を高めると同時に、品質向上に努め、受注先からの信頼を更に高めます。

3) 働く姿勢と意欲の向上

◇できないと決めつけず、一歩を進む勇気と一歩ずつ前へ進む努力を重ねていきながら、できた時の喜びや生産活動に対する関心感を高めると同時に、働く意欲の向上を目指します。

4) 課題達成と対応力強化

◇自己課題（人間関係含む）を認識し、その課題を達成することで、自信へ繋げ、仕事としての自覚を高めると同時に、やるべき役割を果たし、利用者配置の対応力強化を目指します。

【販売部門】

1) 名物看板

◇通行する人たちの目を引くような特徴的看板（インパクト）を設置し、もくもく市場のPRを図ります。

2) 貢献活動

◇常に清潔を保った店構えにすると同時に、清掃等の地域貢献活動に力を注ぎます。

3) 先を見据えて

◇新型コロナウイルス終息後の観光客激増に期待を寄せ、もくもく市場独自の『湯せんぺい焼き体験』の実現に備え、立案に力を尽くし、販売部門の売上向上を目指します。

【まるとく部門】

1) 衛生と清潔

◇食品の製造販売に携わる者として、衛生と清潔の徹底に努め、いつでも誰もが、気持ち良く快適に働ける環境、気持ち良く快適に購入してもらえる空間を更に構築します。

2) 店舗レイアウトと商品陳列拡張

◇今あるものを最大限に生かしつつ、目新しい無駄のない空間を作り出し、商品陳列の拡張に繋げると同時に、消費者に新鮮な感覚を与え、売上向上を目指します。そのための必要備品等を購入します。

3) 生産力と販売力

◇小さなことからコツコツと製造販売に興味関心を抱いてもらうと同時に、業務の細分化やマンツーマンの指導を徹底し、人員増員へ繋げ、利用者配置の対応力強化を目指します。

4) 親しみある接客と臨機応変な対応

◇再び来店してもらえるような親近感あふれる対応で、消費者の定着へ繋げると同時に、定期イベントや販売セールを実施し、還元することで、地域貢献や地域密着の更なる根付きを目指します。

【その他の活動】

1) 年間行事・昼食会（別紙、年間予定表参照）

◇外出行事や昼食会等は、新型コロナウイルス感染症の状況を判断し、対策を徹底したうえで実施します。

2) 外出行事

◇前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で外出行事は一度も実施していない。日常生活の中でも外出自粛、気分転換を図る機会は限りなく減少している。令和3年度は、状況を見極め、感染症対策の徹底と安全を最優先としたうえで、気分転換やストレス発散へ繋がるよう、可能な限りの外出行事を実施します。

3) 健康

◇年齢に関係なく、肥満体、血糖値、高血圧、体力低下など、健康に不安を抱える人が増えている。また、体の痛みや体調不良の申し出で出勤安定できない人も増えているため、その人に合わせた運動内容や目標を設定し、ほど良く体を動かすことで、健康に役立てます。

4) 食と食品の大切さ

◇バランスの良い献立を提供し、日頃の健康に役立てます。また、美味しい料理を食べて満足感を得るだけでなく調理に携わる機会を準備し、調理の楽しさ、食への関心を引き上げると同時に、食べ物の大切さを引き上げ、食べ残しから出る食品ロスを減らします。

【就労支援事業 工賃変動積立金・設備等整備積立金】

◇◇◇工賃変動積立金◇◇◇

・毎会計年度、一定の工賃水準を利用者に保障するため、将来の一定の工賃水準を下回る工賃の補填に備える積立金。

◇◇◇設備等整備積立金◇◇◇

・就労支援事業の安定的かつ円滑な継続に必要な設備等の更新や、新たな業種へ展開を行うための設備導入の資金需要に対応する積立金。

◇◇◇説明◇◇◇

・利用者に支払う工賃は、障害者総合支援法令の定めるところにより、生産活動に係る事業収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を利用者工賃として支払うものとなっている。

・上記法令に従って、就労支援事業3部門の「製造、販売、まるとく」で得た収益を公正公平に工賃支給したうえで、令和2年度の実績と令和3年度の実績を基に積立金を行う。

◇◇◇積立金を設定する3つの条件◇◇◇

- ①当該年度の利用者工賃の支払額が、前年度の利用者工賃の支払い実績額を下回らないこと。
- ②積立金ごとに「各事業年度における積立額」及び「積立額の上限額」の範囲で設定すること。
- ③積立金を設定する場合には、同額の積立預金を設定すること。

積立予定額（毎年度）	工賃変動積立金	300.000円
	設備等整備積立金	300.000円

積立金計画を実行するためにも、就労部門の更なる発展と向上を目指す。